

RDP と RemoteFX テクノロジー

2013年3月6日 Charlie Williams, マーケティング担当重役

RDP と RemoteFX テクノロジー

– by 2X クラウドコンピューティング チーム

RDP と RemoteFX 周辺のテクノロジーは、急速に改善されており、エンドユーザーは大幅に改良されたコンピューティング体験ができるようになってきました。RemoteFX は Microsoft の Remote Desktop Protocol (RDP) を改良したディスプレイのプロトコルです。RemoteFX を使うと、様々な種類のネイティブのデスクトップコンテンツを仮想デスクトップ上で、ほぼ完璧な忠実度で見ることができます。RemoteFX のテクノロジーは、高度なコード化とグラフィック仮想化がなされているために、RDP だけの場合と比較して、より高品質なユーザー体験を提供します。

仮想デスクトップは、エンドユーザーが、Windows 環境下でのリモート操作、3D アプリの実行、ビデオを見ることを可能にしています。RemoteFX のおかげで、仮想デスクトップのパフォーマンスが、ネイティブなデスクトップのそれと近くなっています。RemoteFX の最新の開発では、Windows 8 と Windows Server 2012 でも利用できるようになっています。これらの OS は、RemoteApp への接続、WAN ネットワークのサポート、RemoteFX USB リダイレクトを使った USB デバイスのリダイレクトなどのすべての RemoteFX の機能に対応しています。同様に、リモートデスクトップアプリケーションは、Windows 8 と Windows Server 2012 の導入により、全体的により良くなっています。これは、RDP が現在はより多くの RemoteFX テクノロジーを使っているという事実起因しており、機能豊富で、迅速なリモートデスクトップのユーザー体験に役立っています。例えば、リモートデスクトップはわずかなビットをスキップすることなく、ユーザーは 720p の映像をストリーミングすることができます。

Windows Server 2012 で、Microsoft は、リモートデスクトップサービスと RemoteFX を改善するために、仮想化導入問題を解決しています。RDP テクノロジーの最新版では、仮想デスクトップの管理が容易になり、高可用性オプションが備えられています。一方で新しい RemoteFX テクノロジーはグラフィックレンダリングと WAN 経由でのリモートデスクトップアクセスを向上させています。しかしながら、後者では追加のハードウェアを必要とすることに留意することが重要です。

Windows 8 で、RemoteFX の最新版にはマルチタッチが含まれています。マルチタッチは、ユーザーがタッチ可能な端末からリモートデスクトップセッション(RDS)にアクセスすることを可能にしています。もうひとつの重要な機能は、アダプティブ グラフィックで、これは RDS がビジュアルをレンダリングする方法を変更します。すべてのレンダリングは、クライアント側でレンダリングされる代わりに、ホスト上でなされます。Windows 8 RemoteFX は、接続速度を自動的に検知するので、WAN 経由での仮想デスクト

ップのパフォーマンスを向上させます。Windows Server 2008 R2 では、RemoteFX を VDI 経由でのリモートデスクトップの公開に使うことができますが、エンコードするために、別の画像処理装置(GPU)が必要です。Windows Server 2008 R2 では、ソフトウェア エンコーディングを使うので、RemoteFX は GPU を必要としません。 .

[2X Software](#) は、[2X ApplicationServer XG](#) クラウドソリューションを通して、RemoteFX を含めて、仮想デスクトップとアプリケーションの公開の最新版を提供します。双方向オーディオ、Windows Media Player のリダイレクトなど、[2X ApplicationServer XG](#) により、リッチで向上された体験をユーザーがお楽しみ頂けます。[2X ApplicationServer XG](#) を今すぐダウンロードして、最新の Windows リモートデスクトップサービス、Windows ターミナルサービス及び Microsoft RemoteFX テクノロジーを 2X が統合した利点の活用を開始して下さい。